



「人 物」

鳥取ガス株式会社

取締役社長

児嶋祥悟

最近、日本に人物が少なくなったと言う言葉をよく耳にする。

安岡正篤先生の人物論によると、人間の本質的要素として、道徳性が不可欠であり、さらに、人物といわれる人の根本的要素として、気骨、知識、見識、胆識、そして器識の五つをあげている。

気骨があり、知識が見識に到り、そして胆識にまで高まった人を、初めて、器ができたと言う。

要は「人物」とは、人間がどれくらいの「ものさし」になり得るか、どれだけの「包容力」が有るかと言う事だ。以上が彼の日本の将来を担う人物論である。

現実の社会は、複雑で矛盾も多い。器量がないと事象を見失い、いたずらに混乱し、進むべき方向を誤る。

現在の日本は、長年の繁栄をよいことに、政治家も経営者も、真の志が頹廢、墮落しているのではないだろうか。

新年を迎えるに当り、確固不拔の志を持った、平成の器量ある人物が、多数輩出する事を祈念したい。